

日時 令和元年 8月6日

場所 横須賀市 (終活支援事業)

<所感>

2種類の終活支援事業がある。

- (・ エンディングプランサポート事業 ——①
- (・ 終活情報登録伝達事業 ——②

①については、事業費が年間252千円で行われている。
独居高齢者に限定された葬儀社との死後契約である。

②については、事業費が年間75万円、年間153件の登録。

緊急連絡先などを市へ登録してもよい。問い合わせがあった時に
回答する。

①、②について予算規模は少額であるが、その効果は大まかには
一度検討してみようと感じた。

日時 令和元年8月7日

場所 府中市(ボートレース平和島)

<所感>

JR等の駅から近いという立地条件で施設は別会社が
所有し、賃貸にしている状況である。支出が多い。

新規のファンの獲得はどの場とも同様であるが、多言語の
パンフレットがあり、インバウンド消費の1つとして考えられている点は
評価できる。また、SNSは活用している。

ボートレース事業全体が今は好調であるが、次の一手を早く見
つけることと好調を持続させることを、さらなる挑戦と取り組む。

視察報告

六合会

福田 健吾

日時 令和元年 8月8日

場所 大和市 (シユスの運営)

< 所感 >

鉄道の地中化と再開発事業の中、出来た建物があるが、再開発事業は頓座したため行政が95%の床を取得をし、複合施設となった。現在、指定管理者制度で運営しているが、その管理料が8億円とのこと。これが市にあると考えられるような金額である。

市内に他にも図書館があるが運営は一元化されている。

これに利用者が当初の予定よりも多いとのこと。今後の動向が気になる。また、市外からの利用者もかなり多いとのこと。これは地域性を示しているかと考えられる。

視察報告書 六合会 青木義雄

日時 令和元年 8月6日(水)

場所 横須賀市

内容 経済情報登録伝達事業について

概要 横須賀市の経済支援事業としては事業あり。2015年から始まったエンディングファン・サポート事業と2017年から始まった経済情報登録伝達事業がある。

背景として、高齢化が著しく進む中で、引取りのいらい遺言が急増している。また、この場合、市が埋葬の費用を負担して、という現状あり。この状況を打開し、救済するため、エンディングファン・サポート事業がスタート。対象者を所得、低資産、軽微な親族のいる、独居高齢者に限定し、本人同意の上で登録申請し、死後に納骨が履行されるというものである。このメリットは2つあり、ひとつは、葬儀費用(約25万)は本人負担であり、行政費用負担が発生しないというメリット。もうひとつは、死の尊厳を保つというメリットがある。

一方、経済情報登録事業は、市民が自ら登録できるもので、登録できる項目も自由に選択でき、追加・変更・削除も随時可能であり、元々うちに経済情報を市に登録しておくことで、緊急の時に市に問い合わせる必要がなくなるというシステムである。

所感 エンディングファン・サポート事業は平成30年度予算が103千円、14件の登録、5件のファン・サポート。経済情報登録事業は平成30年度予算が70千円、118件の登録、15件のファン・サポートという実績である。但し予算でできる事業であるが、高齢化・高齢化が急速に進行していることが、現状、今以上に必要とする事業であることが考えられる。また、今後エッセイ機能強化により、地域の自主、自治、いわゆる地域力強化を図ることが必要である。考えられることは、経済情報登録という言葉が、多岐にわたる言葉の組み合わせで、むしろこの地域力を失わせる一因、地域力強化の妨げとなる可能性がある。

日時 令和元年 8月7日(木)

場所 府中市

内容 ポートレス平和島の経営について

概要 ポートレス平和島は府中市の総行着で昭和29年開設。平成30年度の事業内容は年間開催日数180日、売上金額は618億6813万7200円、11月平均3席326274394円、12月年末にQC(75-20 フライエクス)が開催され約120億以上売上げたことで前年度の売上げを大きく上回った。総設は京急開発(株)が管理運営し本場の他に外回り専用としてポートレス平和島劇場があり収容人数1万4千石という大規模外回り4階あり豪華な総設である。ポートレス35所 オアシス9所をもち24場あるポートレス場の中でも売上では常に上位にある都市中心部にあるポートレス場として親しまれている総設である。

所感 羽田空港や大井競馬場がすぐ近くにある。大都市直下型のポートレス場で周囲の高層のマンションが立ち並んでいる。周囲を海と緑に囲まれた同市内のまち(様相)が異なっている。総設の外回りも含めて京急(株)民間会社が管理運営しているところも同市内のまち(異なっている。平成30年かQCで売上大幅に増やしたことが同市内本年12月の年末の75-20 フライエクスで売上大いに期待できそうである。これを大きな実績として同市内の他のポートレスも好調を維持してほしいことを切望する。

日時 令和元年8月8日(木)

場所 大和市

内容 シリウスの運営について

概要 シリウスは平成28年11月にホーン、図書館、文化ホール、生涯学習センター、屋内二輪広場などで構成される文化複合施設である。6Fあるサブエに本が遠くあり、全館図書館をエッセイに健康エナジー充実し、二輪専用フロアも広い面積を有するが市民の居場所として1年8ヶ月で560万人が来館しているという人気の施設である。駅周辺の再開発事業として当初はマンション高層施設を市民の主要の計画であったがリーマンショック等の不況のあがりを受けて大幅な計画変更が平成25年度に於て95%の行政施設が占めるという内容になった。統事業が約147億円、40億円の補助金、地方債80億、一般財源16億、基金11億という内訳であり6社JVによる指定管理料は年々8億円

所感 相鉄本線と小田急江島線が乗り入れる大和駅が歩いて50メートルに立つ巨大な行政施設である。当日 夏休みという二輪あがりフロアも多くの来場者でにぎわっていた。大和市以外が多くの来場者という結果から66%が市内でそれ以外は他市からの来場であり、二輪施設や文化ホールは50%が市内、50%が市外という割合で二輪の来場者が多いが当然他市の来場もかなりあったが他市で二輪は浸透している行政施設も希なところだろうか。若い母親を中心にSNS等で増えている。あまりにも来場者が多い手狭になったといううしろめがあること。大和市そのものは人口が微増である中でトータルは生活圏、経済圏に見合った施設といえ、大都市周辺部ならではの施設といえる。行政施設が95%を有する再開発事業の成功例のひとつであるが、大和市の政策転換の詳しい事情や背景はあつらうが、本市での来場者48万人という事実と受けざるを得ない

大和市の

会派行政視察《H30. 8. 7》
質問・答弁及び所感

福田 文治 議員

視察事項 神奈川県 横須賀市 終活支援事業

問
答
問
所感
横須賀市人口 167,000 人 面積 100 k m ²
この事業の目的はひとり暮らしで身寄りがなく生活に困窮する高齢者の市民に
対し死後の葬儀、納骨、死亡届人の確保等希望により死後の支援計画を完成し安心
して人生を送って頂くことを目的としている。
近年引き取り手の無い遺骨が 10 年で倍増しており、身元の判明している一般市
民でも引き取り手の無い数が年々増えている。
「わたしの終活登録」は 0 歳以上の市民誰でも登録でき個人の努力（登録）に
報い安心して死去できる。登録内容は緊急連絡先、支援事業所（民間）エンディン
グノート保管場所、遺言書の保管場所など市に登録することにより有事の慌てる
ことな一括管理されており、死後の心配をする頃は無い。
平成 27 年から開始し相談件数 369 件プラン実施 9 件と成果を上げている、費用
市の負担は年 10 万円、プラン実施で 7 万円と費用的にはさほど掛からず、不安を
持っている市民にとっては大変良い施策である。地域の民生委員、自治会長、福祉
委員等の協力を得て推進派出来ないものか。

質問・答弁及び所感

福田 文治 議員

視察事項 ポートレース平和島の運営について

問

答

所感

ポートレース平和島は昭和29年に東京都が初開催し昭和30年に府中市が施行者

となり現在運営している、施設は東急開発（株）が所有し売上げの4%を施設

使用料として支払っている。

府中市市は本場以外に平和島劇場をはじめとしポートピア3場、オラレ2場を運

営している。

ポートレース平和島はJR、私鉄等交通の便もよく多くのレースファンを受け入

れている。SG競走をはじめとして、G1、G2レースの開催も多く売上げも

平成30年度は619億円増となっている。

特色としては外国人利用者の吸収に力を入れており5か国語の利用案内（解説）

パンフレットを作成している、都会ならではの取り組みと感じた。

施行者と、施設保有者が別々なので苦勞もあると思う、本市のポートレース徳山は

企業局長の思う通りになり責任は大である。団塊の世代の利用者が多くこれから先

カジノ誘致の話など公営ギャンブルも大変な時代になると思う、しっかりとトレンド

を読み企業運営をしてほしい。

会派行政視察《H30. 8. 8》
質問・答弁及び所感

福田 文治 議員

視察事項 神奈川県大和市 文化創造拠点シリウス

問

答

大和市は人口 235,000 人弱面積 27.09 k m²と人口密度が高くこの施設の有効性は
大である。地下 1 階地上 6 階の文化複合施設であり、総事業費 1 4 7 億円（国 40
地方債 80. 一般会計 16. 基金 11 億円）の立派な施設である。

この施設は人口広さからすると年間 300 万人の利用があり管理運営は 6 社の J V
で指定管理料は年間 8 億円とコストも高額で年 2 回の休館日で運営している。
1 階がメインホールとなっており 1,000 席またギャラリーがあり放送スタジオ
を設置し災害時には災害関連情報を提供している。

各階で特筆すべきは図書館にゆったり寛げる有料席を設けている、また最大 4 時
間ではあるが子供たちを預かる保育士が常駐している。また体組織計、骨健康度
測定器等の器具を備え保健師が常駐しドクターとの連携も摂れるようになってる。

図書館がメインの施設であるが、スタバも入店しており多くの市民の憩いの場
となっている。本市の駅前図書館とはスケールが違うが民間の営業努力で利用者
に満足いく施設となる様特色を活かし利用者増を期待する。

会派六合会 行政視察《神奈川県横須賀市》

質問・答弁及び所感

佐々木 照彦 議員

視察事項 終活支援事業について

問

答

所 感 2015年度引取り手のない遺骨が10年で倍増。高齢化が進みひとり暮らしの高齢者が1万人をこえた。そういう時代背景のもと事業が始まる。

エンディングプラン・サポート事業について

低所得・低資産・頼れる親族のいない独居高齢者に限定し、低額で葬儀から納骨までの社会貢献的プランを提供できる協力葬儀社を案内する事業で、本人と葬儀社に生前契約予納し、死後契約を履行してもらおう。葬祭事業者の倒産リスクはあるが、近い将来、毎年、自治体内の死亡者の10%の火葬に要する費用を自治体が負う可能性があることを考えた場合、事業費年間2万2千円で出来る事業は、良いと思う。

私の終活登録（終活情報登録伝達事業）

元気なうちに安心して繋がる終活情報を市に登録（緊急連絡先、遺書・エンディングノートの保管場所、生前契約した葬儀社名など）し、緊急時などに市に問い合わせがあった場合に回答する。年間予算7万円、1年間で153件の登録があったという。

いずれの事業も、住民の安心、尊厳を守る上でも大切な事業であると思う。行政、地域の市民、民間事業者それぞれにメリットがある。単独で課を設けなくとも、低予算、少人数で事業化できる。周南市も検討する価値があるのではないか。

会派六合会 行政視察《平和島》
質問・答弁及び所感

佐々木 照彦 議員

視察事項 ポートレース平和島の経営について

問

答

問

答

所 感 府中市が施行するポートレース平和島は、立地は、JR、私鉄の駅からも近い。施設は、京急開発（株）所有し、改修を重ねながら維持している。売上は、H27、28年度やや落ちているが、現在は、回復し売り上げを伸ばしている状況である。SG、G1が毎年のように行われ、売上を維持しているが、その反面支出も多い。いかに新規のファンや家族連れを獲得するかというところは、どこの場でも課題のようで、民間が、場の目の前にトンデミ平和島という遊技場を作っているが、なかなかその家族連れを場内に入れるのに苦労があるという。神奈川県など他県に向けた取り組みにも力を入れている。これだけ趣味や嗜好の要求が満たされる都会にあって、頑張っているのではないか。また、インバウンドにも力を入れ、パンフレットも5か国語準備されている。地方においては、インバウンドの受入れは、まだまだ研究が必要であると思うが、いろいろな仕掛けについては、良い方向にあると思う。

会派六合会 行政視察《神奈川県大和市》

質問・答弁及び所感

佐々木 照彦 議員

視察事項 文化創造拠点シリウスについて

問

答

所 感 鉄道を地中化し、駅前の再開発事業の計画によるものだが、当初の計画が、頓挫し、市が床の95%を取得し、図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場を中心とする文化複合施設となっている。市民の居場所をつくること、健康の見える化など工夫が見える。一日平均9千人が来館する。施設の管理運営は、指定管理制をとっている。選定においては公募で3グループがあり、プレゼン等で現在のTRCを含んだグループとなっている。指定管理料は、8億+利用料。それぞれの会に特色があり、市民交流、こどもの国、健康テラスなど。こどもの国には、有料、無料の広場や、子どもの一時預かりの保育室、こども図書館。健康テラスには、いろいろな健康器具をそろえ、保健師が半日常駐している。また、防災センターも設置されている。来館者が、予想をはるかに上回ったことから、席や動線の確保が、課題だと言われていた。図書館は、大和市内に3館あり、いずれもTRCの指定管理で、一元化を図っている。

非常に素晴らしい施設を視察したが、近くにも大型図書館がある中、これだけの施設を造り、維持しようと考えられるのは、いまだ人口が増加傾向にあることにも起因しているか。それも若者から高齢者までを見据えたまちづくりをしているからではないだろうか。

六合会行政視察《大和市》
質問・答弁及び所感

長嶺敏昭 議員

視察事項 大和市文化創造拠点シリウス

問

答

問

答

所 感 面積27.09km²に235,800人余りの人口のコンパクトで効率のいい行政運営が出来ている都市で、厚木基地に隣接することから潤沢な関連交付金もある豊かな都市と思われる。

文化複合施設「シリウス」は図書館、文化芸術ホール、生涯学習センター、屋内こども広場などが複合されている事業費147億円の羨ましいような施設であった。年間利用者も300万人を超えており、市民に受け入れられているようだ。施設運営は図書館流通センター、サントリーパブリシティサービスなど6社のJVが年間約8億円の指定管理で運営されている。

周南市の駅前図書館にも子供子育て支援施設があればいいと思っていたが、運営費が嵩み、大和市のようにはいかない。大和市は健康都市宣言をし、「健康」を市政運営の中心に据えた計画を策定しており、図書館4階に健康コーナーを設けている。中でも感心したのは、健康見える化コーナーで体組成計、骨健康度測定器、電動血圧計、血管年齢測定器、脳年齢測定器など揃え、データ記録している。県補助金のあるようだが、これは周南市の複合施設にも整備し、保健師やドクターとの連携で地域医療とまちづくりを目指していけるのではないかと思った。